



OCI NetAppストレージサービス

Workload Factory for NetApp Console

NetApp
October 07, 2026

目次

OCI NetAppストレージサービス	1
NetApp Workload FactoryでのOCI NetAppストレージサービスについて	1
機能	1
NetApp Workload Factoryを使用するためのツール	2
支援を受ける	2
NetApp Workload FactoryでのOracle Cloud Infrastructure NetApp ストレージサービスのクイックスタート	2
NetApp Workload FactoryにOracle Cloud Infrastructureの認証情報を追加する	3
NetApp Console で Oracle Cloud Infrastructure NetApp Storage Service システムを作成または検出する ..	4
既存のクラウドストレージシステムを検出する	4
リンクを使用してOracle Cloud Infrastructure NetApp Storage Serviceストレージシステムに接続する	4
タスク概要	5
新しいリンクを作成する	5
OCIリソースマネージャーにTerraformスタックをデプロイする	8
Workload Factoryに機能を登録する	8
同じテンプレートを適用するその他の方法	8
既存のリンクをOCI NetAppストレージサービスシステムに関連付ける	9
OCI NetApp ストレージサービスの権限（NetApp Workload Factory用）	10
Workload FactoryがOCI NetApp ストレージサービスの権限をどのように使用するか	10
クロステナント信頼	10
OCI NSS の IAM ポリシー	10

OCI NetAppストレージサービス

NetApp Workload FactoryでのOCI NetAppストレージサービスについて

Oracle Cloud Infrastructure NetApp Storage Service (OCI NSS) は、高度なデータ管理機能と拡張性に優れたパフォーマンスを提供する、フルマネージドのクラウドベース データストレージサービスです。OCI NSSを使用すると、NetApp Workload Factory内のすべてのワークロードのストレージバックエンドとして、ストレージプールを作成および管理できます。

OCI NSSは、NetAppのお客様が現在オンプレミスで使用しているものと同じ機能、パフォーマンス、管理機能を、ネイティブなOracle Cloudサービスのシンプルさ、俊敏性、セキュリティ、拡張性とともに提供します。

OCI NSSは、Workload Factoryの_ストレージ_コンポーネントです。

機能

OCI NSSは以下の機能を提供します：

- フルマネージドサービス：Workload Factoryコンソールと統合されたフルマネージドサービスを提供します。
- 高可用性：各OCI NSSストレージプールに対して高可用性を提供し、単一および複数の可用性ゾーンのデプロイメントをサポートします。
- 自動スナップショット：自動化された効率的なスナップショットでデータを保護します。スナップショットは、ストレージプールまたはボリュームの、ほぼ瞬時に作成されるスペース効率に優れたポイントインタイムの読み取り専用コピーです。
- ボリュームレプリケーション：Oracle Cloud Infrastructure全体にわたるリージョン間レプリケーションによる災害復旧機能を提供します。
- 効率的なバックアップ：緊急時に備えて、別のリージョンにデータのコピーを保存することで、保護層をさらに強化します。
- 高速クローニング：高速クローニングによりアプリケーション開発を加速します。
- マルチプロトコル対応：ネットワークファイルシステム (NFS)、サーバーメッセージブロック (SMB)、およびインターネットスモールコンピュータシステムインターフェース (iSCSI) プロトコルをサポートします。
- 高スループット：OCI NSSファイルシステム上で実行されるワークロードの低遅延を保証するために、高スループット性能を提供します。
- インメモリキャッシュとNVMeキャッシュ：独自のインメモリキャッシュとNVMeキャッシュを搭載しており、頻繁にアクセスされるデータのパフォーマンスを向上させます。
- 数十万IOPS：SSDディスクにより数十万IOPSを実現し、ストレージとワークロードがタイムリーな結果を得られるようになります。
- シンプロビジョニング：事前に容量をプロビジョニングすることで、より多くの容量が必要になるまでコストを削減できます。

- データ重複排除と圧縮：重複データを削除し、データを圧縮することで、OCI NSSファイルシステムに必要な物理ストレージの量を削減し、コスト削減を実現します。
- データ階層化：アクセス頻度の低いデータを、プライマリの高性能SSDストレージ階層からセカンダリの容量プールストレージ階層に移動することで、ストレージコストを削減できます。

NetApp Workload Factoryを使用するためのツール

NetApp Workload Factoryは、以下のツールで使用できます：

- **NetApp Console**：NetApp Consoleはハイブリッドインターフェース環境を提供するため、Workload Factoryを他のNetAppデータサービスと併用できます。
- **Ask Me**：Ask Me AIアシスタントを使用して、Workload Factoryコンソールから離れることなく、質問をしたり、Workload Factoryについてさらに詳しく知ることができます。Workload FactoryのユーザーインターフェースからAsk Meにアクセスしてください。
- **CloudShell CLI**：Workload Factory には、単一のブラウザベース CLI から複数のアカウントにわたって AWS および NetApp 環境を管理・運用するための CloudShell CLI が含まれています。Workload Factory コンソールの上部バーから CloudShell にアクセスします。
- **REST API**：Workload Factory REST APIを使用して、OCI NSSシステムとリソースをデプロイおよび管理します。
- **Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Resource Manager**：OCI Resource Managerを使用して、Workload Factoryコンソールで定義したアクションを実行し、OCIアカウントのResource ManagerスタックからOCIおよびサードパーティのリソースをモデル化、プロビジョニング、および管理します。
- **NetApp Terraform**プロバイダー：Terraformを使用して、Workload Factoryコンソールで生成されたインフラストラクチャワークフローを構築および管理します。

支援を受ける

Workload Factory または Workload Factory アプリケーションとサービスに関する一般的な質問については、["OCI NSS for Workload Factory に関するヘルプを入手する"](#)を参照してください。

NetApp Workload FactoryでのOracle Cloud Infrastructure NetApp ストレージサービスのクイックスタート

Oracle Cloud Infrastructure NetApp ストレージサービス（OCI NSS）の利用を開始するには、資格情報と権限を追加し、必要に応じてリンクを作成し、ストレージシステムを作成または検出します。

開始するには、以下の手順に従ってください。

1

資格情報と権限を追加する

["アカウントに認証情報を追加する"](#)。これには、ワークロード機能の選択と、必要な権限に対するIAMポリシーの作成が含まれます。

デフォルトの["ビュー、計画、分析"](#)許可ポリシーを選択します。

2

リンクを作成する

この手順は任意です。NetApp Consoleから一部の管理タスクを実行するには、NetApp Workload Factoryリンクが必要です。_link_は、OCI Functionsを利用して、OCI NSSシステムとの信頼関係と接続を確立します。

- ["OCI NSS管理にコンソールエージェントまたはリンクが必要になる場合について"](#)
- ["リンクの作成方法を学ぶ"](#)

3

OCI NetApp ストレージサービスシステムを検出または追加する

Workload FactoryでOCI NSSリソースの管理を開始するために、ストレージプールを検出します。["NetApp Console"](#)で、ストレージ、管理、*Discoverable systems*の順に選択します。["OCI NSSストレージシステムを検出する方法について説明します"](#)。

次の手順

ストレージインベントリにストレージプールがあれば、OCI NSSリソースの管理を開始できます。

NetApp Workload FactoryにOracle Cloud Infrastructureの認証情報を追加する

クラウド プロバイダの認証情報を追加および管理して、NetApp Workload Factoryがクラウド プロバイダアカウント内のリソースをデプロイおよび管理するために必要な権限を持てるようにします。

["OCI NetApp ストレージサービスの権限"](#)

タスク概要

既存のWorkload Factoryアカウントに認証情報を追加するには、「認証情報」ページを使用します。これにより、Workload Factoryは、お客様のクラウド環境内のリソースとプロセスを管理するために必要な権限を取得します。

開始する前に

Oracle Cloud Infrastructureアカウントにログインするには、認証情報が必要です。

手順

1. ["NetAppコンソール"](#)にログインします。
2. メニューから、ワークロード > 管理 > 認証情報 を選択します。
3. 認証情報ページで、「認証情報の追加」を選択します。
4. Oracle Cloud Infrastructure NetApp Storage Serviceの認証情報の追加ページで、次の手順を実行します：
 - a. 「権限構成」で、Oracle Cloud Infrastructure NetApp Storage Serviceの認証情報に適切な権限を選択します。*View, plan, and analyze*の権限がデフォルトです。この権限ポリシーにより、OCI NSSストレージプールを表示したり、システムの状態を把握したり、システムの適切なアーキテクチャ分析を取得したり、コスト削減の可能性を探ったりすることができます。
 - b. Oracle Cloud Consoleで提供される手動の手順に従って、OCI NSS認証情報の権限構成を完了してください。

c. 「認証情報名」に、これらの認証情報に使用する名前を入力し、テナントOCIDを入力します。

5. *追加*を選択します。

次の手順

"Oracle Cloud Infrastructure NetApp ストレージサービスのクイックスタート (NetApp Workload Factory 環境) 。"

NetApp Console で Oracle Cloud Infrastructure NetApp Storage Service システムを作成または検出する

Oracle Cloud Infrastructure NetApp Storage Service (OCI NSS) システムを検出し、NetApp Consoleからボリュームと追加のデータサービスを管理します。

既存のクラウドストレージシステムを検出する

Discoverable systemsページからストレージシステムを検出します。

開始する前に

Workload Factoryで、OCI NSS環境の認証情報を入力してください。

タスク概要

クラウドストレージシステムは、アカウント内で一度だけ検出でき、1つのワークスペースにのみ関連付けることができます。ストレージシステムは後で削除して、別のワークスペースに再関連付けすることができます。

手順

1. NetApp Consoleメニューから、ストレージ、管理、*Discoverable systems*の順に選択します。
2. 検出されたクラウドストレージシステムの数が表示されます。*検出*を選択します。
3. 1つ以上のストレージシステムを選択し、*検出*を選択してシステムページに追加します。



- 名前のないストレージシステムを選択した場合、システムの名前を入力するよう求められます。
- コンソールから管理に必要な認証情報を持たないストレージシステムを選択した場合、必要な権限を持つ認証情報を選択するよう促されます。

結果

コンソールは、検出されたシステムを「システム」ページに表示します。ストレージシステムは、NetApp Consoleのワークロードからの管理、ONTAP System Managerの使用、またはクラウド プロバイダのストレージ管理ツールの使用など、さまざまな方法で管理できます。

リンクを使用してOracle Cloud Infrastructure NetApp Storage Serviceストレージシステムに接続する

高度なストレージ管理操作を実行するには、NetApp Workload FactoryアカウントとOracle Cloud Infrastructure NetApp ストレージサービス (OCI NSS) システム間の接

続をセットアップします。このプロセスでは、リンクを作成してストレージシステムに関連付けます。リンクの関連付けにより、OCI APIでは利用できない特定の機能をOCI NSSシステムから直接監視および管理できるようになります。

["リンクの詳細"](#)。

タスク概要

Workload Factory の *link* は、テナント内の OCI Functions アプリケーションです。Workload Factory はこれを使用して、OCI NSS ストレージプール上の ONTAP システムと通信します（HTTPS 443 および SSH 22）。

リンクはOCI Functionsを使用して、イベントに応じてコードを実行し、そのコードに必要なコンピューティングリソースを自動的に管理します。作成したリンクはお客様のNetAppアカウントの一部であり、Oracle Cloud Infrastructureアカウントに関連付けられています。

Terraformを使用してリンク（または関数）をデプロイし、その後、Workload Factoryに関数のOCIDを登録します。

このスタックは、お客様のテナント内で、お客様のOCIユーザーを使用して実行されます。これは、テナント間の認証情報共有に関するポリシーではありません。そのポリシーは、認証情報を追加する際にテナントのルートに配置するものであり、リンクを作成するために再度作成する必要はありません。

Terraformが作成するもの

リソース	名前の例
Functionsアプリケーション	netapp-wf-app-<suffix>
機能	netapp-wf-function-<suffix>
ロググループ + 関数呼び出しログ	netapp-wf-link-logs-<suffix>
動的グループ + vault-readポリシー	*Local OCI Vault Authentication*を有効にした場合のみ(netapp-functions-dg、テナンシで共有)

新しいリンクを作成する

OCI NSSシステムを定義する際に、アカウント内にリンクを作成できます。そのリンクをそのストレージシステムに使用し、他のOCI NSSシステムにも使用できます。後からストレージシステムにリンクを関連付けることもできます。

リンクには認証が必要です。Workload Factoryの認証情報サービスに保存されている認証情報、またはOCI Vaultに保存されている認証情報を使用して、リンクを認証できます。リンクごとにサポートされる認証方法は1つのみです。例えば、OCI Vaultを使用したリンク認証を選択した場合、後から認証方法を変更することはできません。



コンソールエージェントを使用する場合、OCI Vaultはサポートされません。

開始する前に

- テナントにWorkload Factoryの認証情報を追加しました。

- ストレージプールが存在するテナンシとリージョンのOCI Consoleにサインインできます。
- ネットワーキング：
 - ONTAP管理LIFに到達できるVCN内のプライベートサブネット
 - Oracle Services Network内のすべての \<Region\> サービスへのルートを持つサービスゲートウェイ（関数イメージをプルするために必要）
- スタックをデプロイするグループに対して、IAMポリシーを作成します。["OCI NSS の権限"](#) の詳細をご覧ください。

グループにスタックと関数を作成する権限を付与します。`<deploy-group>`と`<compartment-name>`をお客様の値に置き換えます。`any-user`ではなく、名前付きグループを使用します。

```
Allow group <deploy-group> to manage orm-stacks in compartment
<compartment-name>
Allow group <deploy-group> to manage orm-jobs in compartment
<compartment-name>
Allow group <deploy-group> to manage functions-family in compartment
<compartment-name>
Allow group <deploy-group> to manage log-groups in compartment
<compartment-name>
Allow group <deploy-group> to use virtual-network-family in compartment
<compartment-name>
```

ローカル**OCI Vault**認証を有効にする場合は、以下を追加してください：

```
Allow group <deploy-group> to manage dynamic-groups in tenancy
Allow group <deploy-group> to manage policies in compartment
<compartment-name>
```

その後、スタックは動的グループ`netapp-functions-dg`を作成（または再利用）し、関数がVaultのシークレットを読み取れるようにします。マッチングルール：

```
ALL {resource.type = 'fnfunc', resource.compartment.id = '<compartment-ocid>'}
```

関数とシークレットが存在するコンパートメントのVaultポリシー：

```
Allow dynamic-group netapp-functions-dg to read secret-bundles in
compartment <compartment-name>
Allow dynamic-group netapp-functions-dg to use keys in compartment
<compartment-name>
```

OCI CLIまたはOCI Terraformを使用して、Workload Factory内にリンクを作成し、登録します。

1. メニュー 、管理 > リンク を選択します。
2. リンクページで、リンクを作成して関連付ける > **OCI NetApp** ストレージサービス を選択します。
3. 「リンクの追加」ダイアログの「詳細」欄に、以下の情報を入力してください：
 - a. リンク名：このリンクに使用する名前を入力してください。アカウント内で名前は一意である必要があります。
 - b. **OCI Vault**：オプション。Workload FactoryがOCI VaultからONTAPのアクセス認証情報を安全に取得できるようにします。

リンク展開スタックは、OCI Functionsアクセス許可ポリシーに以下のデフォルトのOCI VaultシークレットOCID正規表現を追加します：

```
ocidl.vaultsecret.oc1.iad.<unique_id>.ONTAPSecret*。
```

デフォルトの正規表現に合わせてシークレットを作成するか、Terraform構成ファイルの正規表現を更新してシークレットのOCIDに一致させることができます。

- a. タグ：必要に応じて、このリンクに関連付けるタグを最大50個追加して、リソースをより簡単に分類できます。例えば、このリンクがOCI NSSストレージシステムで使用されていることを示すタグを追加することができます。
- b. リンク登録：Workload Factoryコンソールの指示に従ってリンクを登録してください。リンク登録は、OCI Terraform環境から行われます。手順については、CodeboxからOCI Terraformを選択してください。
- c. リンクの関連付け：このリンクに関連付ける OCI NSS ストレージ システムを選択し、ユーザー名とパスワードを入力します。
- d. リンク権限：ユーザーグループがリンクを作成するために必要な権限を指定します。

リンクに必要な権限

```
Allow group to manage orm-stacks in compartment id
Allow group to manage orm-jobs in compartment id
Allow group to manage dynamic-groups in tenancy
Allow group to manage policies in compartment id
Allow group to manage functions-family in compartment id
Allow group to manage log-groups in compartment id
Allow group to use virtual-network-family in compartment id
```

4. 「リンクの追加」ダイアログの「場所」欄に、以下の情報を入力してください：
 - a. **OCIテナント**：OCIテナントを入力します。
 - b. **コンパートメント**：コンパートメントを入力します。
 - c. **Region**：リージョンを選択します。
 - d. **サブネット**：サブネットを選択してください。
 - e. **ネットワークセキュリティグループ**：セキュリティグループを入力してください。

Workload Factoryは、選択されたOCI NSSシステムに基づいて、OCIアカウント、場所、およびセキュリティグループを自動的に取得します。

5. *追加*を選択します。

リンク作成状況はイベントページで確認できます。所要時間は5分以内です。

6. Workload Factoryのインターフェースに戻ると、そのリンクがOCI NSSストレージシステムに関連付けられていることが確認できます。

OCIリソースマネージャーにTerraformスタックをデプロイする

手順

1. Codeboxで、*OCI Terraform*を選択します。
2. *Redirect to OCI Resource Manager*を選択します。
3. ダイアログで、*続行*を選択します。
4. ストレージプールを含むOCIテナントにサインインします。
5. コンパートメント、リージョン、および変数を確認します（Workload Factoryから事前入力されています）。
6. *作成*を選択します。適用ジョブが成功するまで待ちます。
7. ジョブの 出力 を開いてコピーします `function_ocid`。

Workload Factoryに機能を登録する

手順

1. 「リンクを追加」ページに戻ります。
2. *リンク登録*の下に、関数OCIDを貼り付けます(`ocid1.fnfunc.oc1...`) 。
3. *追加*を選択します。

同じテンプレートを適用するその他の方法

これらは、CodeboxのResource Managerを使用していない場合にのみ使用してください。

Terraform CLI

1. フォルダを作成します。
2. Codebox (`main.tf`) からそのフォルダに**OCI Terraform**をコピーまたはダウンロードします。
3. フォルダから：

```
terraform init
terraform plan
terraform apply
```

4. apply出力から `function\_ocid` をコピーし、[関数の登録](#3-register-the-function-in-workload-factory)に進みます。

OCI CLI

Codebox の **OCI CLI** タブを使用して zip ファイルをダウンロードし、リソースマネージャスタックを作成してから、plan を実行し、ジョブを適用します。

結果

リンクは*リンク*リストに表示されます。

機能を削除するには、Workload Factoryのリンクを削除してから、Resource Managerスタックを破棄します（または `terraform destroy` を実行します）。

結果

リンクは*リンク*リストに表示されます。

機能を削除するには、Workload Factoryのリンクを削除してから、Resource Managerスタックを破棄します（または `terraform destroy` を実行します）。

既存のリンクをOCI NetAppストレージサービスシステムに関連付ける

リンクを作成したら、1つ以上のOCI NetApp Storage Serviceシステムに関連付けます。

手順

1. メニュー  から、ワークロード > ストレージ を選択します。
2. **OCI NetApp Storage Service** > インベントリ を選択します。
3. リンクに関連付けるストレージプールのアクションメニューを選択し、次に リンクに関連付ける を選択します。
4. ネットワーク識別子（サブネット名またはOCIDとCIDR）を確認してください。
5. *既存のリンクに関連付ける*を選択します。
6. リンク名を選択してください。
7. 認証方法を選択してください：
 - **Workload Factory**：ONTAP管理者のユーザー名とパスワードを入力します。
 - **OCI シークレット管理 - OCI Vault** キー：Vault サポート付きでリンク機能がデプロイされている場合に使用します。VaultシークレットのOCIDを入力してください。
8. 「適用」を選択します。

結果

Workload Factoryは、そのリンクをOCI NSSシステムと関連付けます。高度なONTAP操作を実行できます。

関連情報

["リンクの詳細"](#)。

OCI NetApp ストレージサービスの権限（NetApp Workload Factory用）

Oracle Cloud Infrastructure NetApp Storage Service（OCI NSS）リソースをNetApp Workload Factoryで管理するために必要な権限を確認します。

Workload FactoryがOCI NetApp ストレージサービスの権限をどのように使用するか

Workload Factory IDをテナントに受け入れるクロステナントポリシーを作成すると、Workload FactoryはそのNetApp IDとしてOCI APIを呼び出し、OCIはお客様が付与した権限と各リクエストを照合します。

ユーザーのパスワードやAPIキーを共有することはありません。アクセスは、お客様のポリシーが有効である期間のみ可能です。

クロステナント信頼

NetAppは、NetAppが所有するOCIテナンシで `workload-factory-OCI-SN` グループを運用します。お客様は、テナンシのルートコンパートメントで、このグループに対してお客様のテナンシ内で限定的かつ明示的な権限セットを付与するクロステナンシポリシーを設定します。すべてのOCI API呼び出しは、リクエストごとにこの契約に基づいて評価されます。この契約はいつでも監査および取り消しが可能です。

OCI NetApp ストレージサービステナンシ

OCI NSS のデフォルトのテナントは、OCI テナントのテナント ルート コンパートメントです。

オプションとして、最小限の権限が必要な場合は、各行の `in tenancy` を `in compartment <name>` に置き換えることができます。

OCI NSS の IAM ポリシー

Workload Factoryは、Workload Factoryサービスを許可するクロステナンシーポリシーを追加した後のみ、Oracle Cloud Infrastructure（OCI）テナンシーにアクセスします。

そのポリシーは、テナントのルートコンパートメントに作成してください。このポリシーには、Workload Factoryが使用できる正確な権限が記載されています。各APIリクエストは、それに基づいてチェックされます。OCIコンソールでポリシーを確認し、いつでもポリシーを取り消してアクセスを停止できます。

以下のアクセス許可ポリシーが利用可能です。

- 表示、計画、分析：OCI NetApp ストレージサービスのリソースを表示し、システムの健全性を把握し、システムの適切なアーキテクチャ分析を取得し、コスト削減の可能性を探ります。

必要なポリシーを確認してください：

▼ OCI NetAppストレージサービスのアクセス許可ポリシー

閲覧、計画、分析

```
Define tenancy NetAppWF as ocid1.tenancy.oc1..<>
Define group NetAppOpsWF as ocid1.group.oc1..<>
```

Admit group NetAppOpsWF of tenancy NetAppWF to inspect tenancies in tenancy

Admit group NetAppOpsWF of tenancy NetAppWF to read compartments in tenancy

Admit group NetAppOpsWF of tenancy NetAppWF to read instance-family in tenancy

Admit group NetAppOpsWF of tenancy NetAppWF to read metrics in tenancy

Admit group NetAppOpsWF of tenancy NetAppWF to read log-content in tenancy

Admit group NetAppOpsWF of tenancy NetAppWF to use virtual-network-family in tenancy

Admit group NetAppOpsWF of tenancy NetAppWF to read file-family in tenancy

Admit group NetAppOpsWF of tenancy NetAppWF to manage functions-family in tenancy

Admit group NetAppOpsWF of tenancy NetAppWF to read log-groups in tenancy

Admit group NetAppOpsWF of tenancy NetAppWF to read netapp-storage-pool in tenancy

Admit group NetAppOpsWF of tenancy NetAppWF to read netapp-svm in tenancy

Admit group NetAppOpsWF of tenancy NetAppWF to read netapp-work-request in tenancy

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。